

# おるご~る

No.  
198

男女共同参画

わこうプラン推進委員だより

岡総務人権課 ☎424-9094

## ジェンダー・ギャップ 指数って、何？

わこうプラン推進委員

大河内 茂美

昨年11月、「国際女性会議」が開催されている最中、ダボス会議を主催する「世界経済フォーラム」が、世界各国の「男女平等の度合い」すなわち「男女格差の度合い」を示した2017年版の「ジェンダー・ギャップ指数」(GGI)を発表しました。

これによると、日本は、調査対象144か国中114位。前年より3つ順位を落とし、過去最低とのこと。今年度は、少し改善しているかなと期待していたが、その逆。これにはガッカリ。上位の3か国は、アイスランド、ノルウェー、フィンランドの常連組。そして4位は発展途上国のルワンダ。因みに米国は49位、中国は100位、韓国は118位。先進国の日本が「何故こんなに低いのか、計算根拠は？」と、多くの方が不思議に感じていると思います。

同指数は、女性の地位を経済、教育、政治、保健の4分野から14項目を選び、男女

格差を分析し、ランキング化したもの。日本は、保健の分野では1位でプラスの要因、ランクを低くしている要因は「経済の分野での男女の収入格差が大きいこと、教育の分野での高等教育の進学率が低いこと、何よりも政治の分野での格差が大きいこと」です。手短かに言えば、政治の分野での大幅な改善が図られれば、指数も上がるということ。

指数のことはともかく、男女平等の社会の実現のためには、女性が積極的に国や地方の政治に参加して欲しいと思います。そのため、女性が政治に参加しやすい環境づくりが大事。進出を阻む障壁すなわち「ガラスの天井」があるならば、その天井を突き破って行って欲しいと思います。それに、そもそもそんな天井が女性だけにあること自体が問題だと考えます。

### 『男女共同参画苦情等処理窓口をご利用ください!』

「市の男女共同参画推進施策や男女共同参画の推進に影響を及ぼす施策への苦情」や「セクハラや男女共同参画を阻害する人権侵害の相談」をお受けします。

岡総務人権課 ☎424-9094